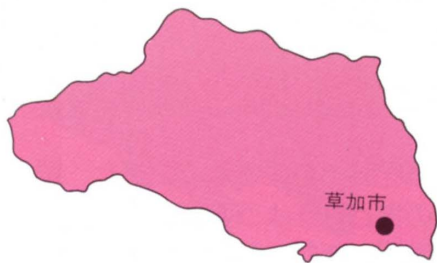


8

辰井川6橋

埼玉県 草加市



周辺の環境にあわせて各橋のデザイン、構造、素材、色彩などに工夫。6橋のネーミングは公募。



草加市は、綾瀬川流域の低平地に位置し、江戸初期、沼沢地を埋め立て日光街道の宿駅として開かれた。近年は、常磐自動車道、外郭環状線などの整備による交通条件の向上に伴い、産業、人口の集積が進んでいる。

昭和五十六年の洪水では、地域の浸水が著しく、その後市内を流れる辰井川の改修が進められたが、川幅を広げる工事に併せ、橋の架け替え・新設が行われ、昭和六十年に完成した。

この際、辰井川を人に親しまれるまちの空間の骨格とするため、周辺の環境にあわせて橋のデザインテーマを決定するとともに、構造、素材、色彩などに工夫が凝らされ、地域のランドマークとなるように整備がなされた。また、橋の名称は、地域の人々に親しまれるよう公募により決定された。

(氷川橋、仲町新橋、蜻蛉橋、丸野橋、大沼橋、栄橋)。

データボード

■所在地

埼玉県草加市谷塚仲町など

■応募者

草加市役所

☎0489-22-0151